

2017年7月10日
イオン株式会社
イオン九州株式会社



イオン九州 3園目！ 7月27日(木)、イオン乙金SCに イオングループ事業所内保育施設「イオンゆめみらい保育園 乙金」開園 従業員のスムーズな復職・子育てを支援します

イオン九州株式会社（以下、イオン九州）は7月27日（木）、イオングループの事業所内保育施設「イオンゆめみらい保育園 乙金（おとがな）」を、イオン乙金ショッピングセンター（福岡県大野城市）に開園します。当園は、イオンモール佐賀大和（2016年6月）、福岡県糟屋郡（今年4月）に続きイオン九州として3園目となる保育園となります。



イオンは創業来、人権を尊重し、国籍・人種・性別・学歴を問わず、多様な人材が活躍できる企業を目指してきました。女性の活躍推進においては、「日本一女性が働きやすく、活躍できる会社」「日本一女性が働きたい会社」を目指し、グループを挙げて、多様な価値観を活かす企業経営を推進しています。

その1つとしてイオンは、出産・育児休暇を取得した従業員のスムーズな復職、並びに子育てをしながら働く従業員の活躍支援を目的に、事業所内保育施設「イオンゆめみらい保育園」の設置を進めています。2014年にイオンモール幕張新都心（千葉県千葉市）に開園して以来、地方自治体の認可を取得した保育園や、内閣府の進める企業主導型保育事業としての保育園をあわせ、現在全国で14園となっています。

「イオンゆめみらい保育園 乙金」は、原則土日祝日・年末年始を含む365日、朝7時30分～夜10時まで開園するとともに、曜日や時間帯に関係なく保育時間数のみで保育料金を設定し、従来の保育施設において発生する早朝・深夜の時間外保育やお迎えサービスの手配の手間と金銭的負担を解消しています。またこの園は、イオングループ企業の従業員だけでなく、テナント企業にお勤めの方、そして地域住民の方もご利用いただけるものとなっています。

イオンは、2020年までに事業を展開する各都道府県に1施設以上設置することを目標に据え、事業所内保育施設の設置拡大に取り組むことで、グループ企業の従業員をはじめ、より多くの方々の仕事と育児の両立支援、待機児童解消の一助となれるように努めてまいります。

【「イオンゆめみらい保育園 乙金」概要】

- 住 所：福岡県大野城市乙金三丁目23番1号
- 対 象：①イオングループ企業とイオン乙金店の従業員、並びにイオン乙金SCに出店している専門店の従業員の乳幼児
②地域住民の乳幼児（地域枠）
- 対象年齢：生後6ヶ月から5歳児まで
- 開園日：原則365日（日曜、祝日、年末年始も開園）
- 開園時間：7：30～22：00
- 定 員：15名（従業員・地域枠あわせて）
- 施 設：130㎡（乳児室、保育室、調乳室、沐浴室、子ども用トイレ 等）
- 設 置：イオン九州株式会社
- 運 営：株式会社テノ. サポート
- その他：同園は内閣府が待機児童問題の解消と仕事と子育ての両立支援を目的に進める「企業主導型保育事業」として認められた施設となります。

【ご参考】

- イオングループ事業所内保育施設の設置状況（「◎」はイオン九州が設置したものです）

「イオンゆめみらい保育園」14園（2017年6月末現在）

- ・イオンモール幕張新都心（2014年12月設置：千葉市認可）
- ・イオンモール沖縄ライカム（2015年8月設置：北中城村認可）
- ・イオンモール常滑（2015年10月設置：常滑市認可）
- ・イオンスタイル湘南茅ヶ崎（2016年4月設置：茅ヶ崎市認可）
- ・イオンレイクタウンmorri（2016年4月設置：越谷市認可）
- ◎イオンモール佐賀大和（2016年6月設置：佐賀市認可）
- ・イオンモール名取（2016年11月設置：企業主導型保育事業）
- ・イオンモール名古屋茶屋（2016年11月設置：企業主導型保育事業）
- ・イオンモール長久手（2016年12月設置：企業主導型保育事業）
- ・イオンモール水戸内原（2016年12月設置：企業主導型保育事業）
- ・イオンモール新小松（2017年3月設置：企業主導型保育事業）
- ◎イオン福岡東SC（2017年4月設置：企業主導型保育事業）
- ・イオンタウン始良（2017年4月設置：企業主導型保育事業）
- ・イオンモール徳島（2017年4月設置：企業主導型保育事業）

※上記の他、一般の保育事業者との利用提携による施設 2カ所

- 企業主導型保育事業の概要（内閣府ホームページ）
<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/outline/gaiyo.html>
- イオンのダイバーシティ推進活動について（イオンホームページ）
<https://www.aeon.info/diversity/>

イオンは、ダイバーシティがうみだす「従業員・家族」「お客さま」「会社」の満足を“ダイ満足”と表し、右のシンボルマークを掲げ、グループを挙げてダイバーシティ経営の実現に向けて取り組んでいます。

